

(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	瑞穂市立ほづみ幼稚園		
実 施 期 間	平成26年11月4日(火)～11月14日(金)		
実 施 概 要	○友達や家庭、地域の人への挨拶運動 園での挨拶運動の取り組みを保護者へ知らせ、園と家庭とが共通理解し、園児に挨拶をする心地よさを感じられる体験を積む。		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	231	人
	地域関係者	32	人
	計	263	人
実 施 状 況	園の教育方針を具現化し、幼児が理解できる方法として「3つのやくそく」を掲げて園児、家庭に知らせ、年間生活の中に位置づけている。その一つ目には「あいさつをします」が掲げられており、11月は“あいさつをしよう”と、挨拶強化月間として取り組んできた。 教師側の取り組みの流れとしては、 ①教師が笑顔で挨拶をする。②教師が率先して挨拶することで園児の意識を高めていく。③進んで挨拶ができた園児を認め、周囲の園児らに広めていく。 園児の取り組みとしては、 ①通園バスにポスターを貼り、バスの乗降時に視野に入るようにし、親子共に挨拶への意識を高める。②5歳児の当番が挨拶隊となり、率先して挨拶をし、心のこもった挨拶をしている友達を紹介するなどしてクラス皆で挨拶の心地よさを感じていく。このように上記に重点を置き、取り組んできた。		
成 果 及 び 課 題	生活の中で、教師が日々の挨拶の大切さや、挨拶をかわすことの気持ちよさを知らせることで、園児自ら挨拶をしようとする姿が少しずつ見られるようになった。しかし、まだまだ身についているという段階ではなく、教師からの促し、声かけが必要であるため、教師からの挨拶を積極的に行い、よいモデルとなっていきたい。 来園者に対してや、園外散歩に出掛けた際、地域の方々に対して進んで挨拶をするようになり、こういった姿を認めてもらう機会も多かった。また、保護者も子どもから取り組みの様子を聞き、バスのポスターに気がつき意識が向いたことで、進んで挨拶される方も増えてきている。 今後は園児の挨拶しようとする姿や育ってきた姿を認め、「挨拶をする心地よさ」が十分に感じられるよう、今後も進んで気持ちのよい挨拶ができる心情、意欲、態度を培っていきたい。		